

弁天島 (大間町)



2021年 8月 5日撮影

弁天島の情報

□所在地 大間町大間弁天1 (大間崎沖約600m)

□交通 JR下北駅より車で約60分

※大間崎まで。島へ渡る手段は漁船のみです。

※先日発生した豪雨災害により、国道279号線の

一部区間において通行止めが発生しています。

国道338号線～県道46号線によるう回路では、

JR下北駅より車で約1時間50分かかります。

□駐車場 あり (大間崎裏側の公営駐車場)

□トイレ あり (公営駐車場)

□マグロモニュメント裏の階段を降りると、より
近くから望むことができます。海が近く、階段が
滑りやすくなっているため、ご注意ください。

荒波の中に浮かぶ島

弁天島は周囲2.7km、最大標高11mの無人島で、カモメ類の集団繁殖地となっています。大間町のイメージキャラクターである「かもまーる」も、この島で生まれたそうです。また、弁天島のシンボルである、白黒ストライプの大間崎灯台は、日本の灯台50選に選ばれており、今年で点灯100周年を迎えます。それを記念し、現在リニューアル工事中。10月下旬の完成が楽しみです。

テレビ番組放送予定！！

むつ市下北自然の家で開催した「しもきたジオキャンプ」(詳細裏面)に密着したテレビ番組が以下の日程で放送されます。みなさま、どうぞご覧ください。

■ RAB青森放送 8月29日(日) 16:30~17:00

お知らせ

鯛島に立つ灯台の正式名称は次のうちどれか

- ①鯛島灯台 ②脇野沢灯台 ③牛ノ首岬灯台 ④陸奥弁天島灯台



活動報告



「しもきたジオキャンプ 初開催！」

下北地域の小学6年生を対象に公募し、7月22日からの2日間、しもきたジオキャンプを開催しました。プログラムでは、エムリバーを使った川の成り立ちの講義、川の源流から海へとずぶ濡れになりながら歩いて下る「雨の一粒ハイキング」、ちぢり浜での現地学習などのほか、東通牛や海峡サーモン、地まきホタテといった下北ジオパークならではの食材を使ったBBQを行いました。初めての取り組みでしたが、子ども達の良い思い出となってきていたらうれしいです。



「ジオパーク子ども研究室」

8月7日(土)、来さまい館2階の下北ジオパークビジターセンターにて、子ども研究室を開催しました。今回の内容は、下北各地の石を使った、「下北ジオパーク岩石マップ」づくり。それぞれの石の違いや特徴を学びながら、自分だけの岩石標本シートを作成しました。

後期は10月から月1回のペースで開催予定です。詳細な日程や内容は、決まりしだいホームページや広報誌、各小学校を通じたチラシ等で周知します。

Editor's Note

編集後記

熱中症アラートが発令されるほどの暑い日が続いたと思ったら、災害が発生するほどの豪雨が降ったりと、例年に無いような気象が続いた夏で、改めて自然の恐ろしさを感じました。風間浦、葉研、ちぢり浜の3エリアが豪雨による被害を著しく受けており、簡単には立ち入れない状況にあります。各地の状況は、判明し次第情報発信を行う予定です。(岩崎)

鯛島に立つ灯台の正式名称は・・・



こたえ

「④ 陸奥弁天島灯台」

「鯛島」は通称で、正式には胴体部分を陸奥弁天島といいます。下北地域内には、大間と鯛島のほか、尻屋崎の近くと、佐井にも弁天島があります。(佐井のものは、現在防波堤の一部となっており、島ではありません。)

【発行元・問合せ先】

下北ジオパーク推進協議会事務局
(むつ市ジオパーク推進課内)

☎0175-22-1111



公式HP



Facebook



Instagram

下北ジオパーク

検索